



平成24年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 カワニシホールディングス
コード番号 2689 URL <http://www.kawanishi-md.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野瀬 洋輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員管理本部長 (氏名) 高井 平

TEL 086-245-1112

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第2四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第2四半期	32,209	5.4	275	△5.4	271	△2.2	107	△31.2
23年6月期第2四半期	30,548	9.8	291	173.2	277	204.7	155	343.7

(注) 包括利益 24年6月期第2四半期 49百万円 (△71.2%) 23年6月期第2四半期 170百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第2四半期	19.12	—
23年6月期第2四半期	27.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
24年6月期第2四半期	23,300	—	2,032	—	8.7	362.31
23年6月期	20,402	—	2,039	—	10.0	363.55

(参考) 自己資本 24年6月期第2四半期 2,032百万円 23年6月期 2,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

平成24年6月期の連結業績予想につきましては、平成24年1月31日に発表したとおり、平成24年1月4日にサンセイ医機株式会社の株式100%を取得し連結対象となったことにより、現在当該会社の連結決算開始時の期首残高の確定作業中であり、作業の終了まで今しばらくの時間がかかり、現時点では、合理的な算定が困難であります。

従いまして、平成24年6月期通期業績予想は未定とさせていただきます、可能となった時点で開示いたします。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期2Q	6,250,000 株	23年6月期	6,250,000 株
24年6月期2Q	639,126 株	23年6月期	639,126 株
24年6月期2Q	5,610,874 株	23年6月期2Q	5,610,945 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載したとおり、連結業績予想につきましては現在精査中です。なお、業績予想に関する事項については、4ページ(定性的情報・財務諸表等)(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は322億9百万円（前年同期比 5.4%増）、連結経常利益は2億71百万円（前年同期比 2.2%減）、連結四半期純利益は1億7百万円（前年同期比 31.2%減）となりました。

なお、連結四半期純利益が前年同期比で大きく減少しておりますのは、以下の2つの理由によるものです。

- ① 前期の第1四半期連結累計期間に、子会社の合併に関して税効果会計を適用し繰延税金資産を計上した。
- ② 当第2四半期連結累計期間に、法人税法が改正され法人税率が引き下げられたため、繰延税金資産を取り崩した。

セグメントごとの業績は、次の通りであります。

〈医療器材事業〉

手術関連消耗品は、引き続き順調に成長を継続しております。特に、商権獲得が進んだ島根、兵庫、香川、徳島の売上高は前年同期比で10%超の増収となりました。その結果、手術関連消耗品全体の売上高は前年同期比107.3%となりました。

整形外科関連商品は、手術件数が低調だったことに加え、昨年6月に㈱カワニシ広島支店が受けた行政処分の影響が売上高を押し下げました。その一方で、島根、愛知、関西地域（奈良、大阪）、道東（北海道帯広・釧路地域）でのシェアアップが進みました。その結果、整形外科関連商品全体の売上高は前年同期比99.5%となりました。

循環器関連商品は、前期に心臓カテーテル検査治療関連の大型設備機器を受注した反動もあり、設備関連の売上高は57.1%減少しました。しかし消耗品は、新規顧客開拓が成功した山口での売上が大きく伸びた他、昨年5月に発売された薬剤溶出ステント及び不整脈治療関連商品も売上高を押し上げました。その結果、循環器関連商品全体の売上高は前年同期比101.4%となりました。

その他売上面では、眼科関連商品も前年同期比118.2%と好業績を上げましたが、前期に大型設備・備品の販売があったことの反動により、売上高の伸びは抑えられました。また利益面では、人員増に伴う販売費及び一般管理費の増加により、医療器材事業は、売上高265億50百万円（前年同期比 1.4%増）、営業利益3億12百万円（前年同期比 2.5%減）となりました。

〈ライフサイエンス事業〉

免疫系試薬の新製品が発売されたことに伴い、いくつかの急性期大病院において、これまで外部に委託していた検査の一部を自らの病院内で行うようになりました。これによって同製品の販売が大きく伸び、診断薬領域の売上高は前年同期比117.3%となりました。

基礎研究領域の売上高は、科学研究費の3割削減計画（現在、3割削減の方針は撤回されました）の影響から、岡山では買い控えが広がり、前年同期実績を若干下回りましたが、広島での顧客開拓の成果により、前年同期比104.9%となりました。

一方利益面は、低利益商品の販売比率が増加したことに加え、販売管理システムの更新による販売費及び一般管理費の増加が利益を押し下げました。

その結果、ライフサイエンス事業は、売上高22億87百万円（前年同期比 11.3%増）、営業損失27百万円（前年同期 営業損失8百万円）となりました。

〈SPD事業〉

医療材料の一括購買窓口を受託した施設数が増加したため、売上高が大きく伸びました。

その結果、SPD事業は、売上高46億3百万円（前年同期比 43.3%増）、営業利益33百万円（前年同期比 49.1%増）となりました。

〈介護用品事業〉

営業拠点の新設により、迅速な対応によるサービス力の向上を図った他、営業エリアを拡大しました。この効果も加わり、在宅ベッドの新規レンタル契約が大きく増加しました。

その結果、介護用品事業は、売上高3億88百万円（前年同期比 13.4%増）、営業利益23百万円（前年同期比 49.6%増）となりました。

なお、「介護用品事業」は前期まで「その他事業」と表示しておりましたが、当期よりセグメント名を変更いたしました。詳細は、「（4）セグメント情報等」を参照ください。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は233億円となり、前連結会計年度と比べ28億98百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が21億39百万円、受取手形及び売掛金が8億90百万円それぞれ増加した一方で、有形固定資産が7百万円、投資その他の資産が58百万円それぞれ減少したことによるものであります。

また、負債は212億68百万円となり、前連結会年度と比べ、29億4百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が11億40百万円、短期借入金が21億42百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が1億59百万円、長期借入金が25百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は20億32百万円となり、前連結会計年度と比べ、6百万円減少いたしました。主な要因は、四半期純利益により1億7百万円増加した一方で、配当金により56百万円、その他有価証券評価差額金により58百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、1.3ポイント減少し、8.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は前連結会計年度末に比べ21億55百万円増加し、50億87百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、1億86百万円となりました。

主な要因は、減価償却費により1億10百万円、仕入債務の増加により11億40百万円それぞれ増加した一方で、売上債権の増加により8億90百万円、たな卸資産の増加により1億19百万円、法人税等の支払額により2億58百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、73百万円となりました。

主な要因は、定期預金払戻により21百万円増加した一方で、有形固定資産の取得により49百万円、無形固定資産の取得により48百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、20億42百万円となりました。

主な要因は、短期借入金が増加した一方で、長期借入金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

サンセイ医機株式会社の株式取得による今期の業績に与える影響につきましては、現在精査中です。従いまして、詳細が確定次第速やかに、通期連結業績予想を開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,091,945	5,231,156
受取手形及び売掛金	10,482,676	11,372,800
商品	2,692,088	2,811,541
その他	821,847	636,078
流動資産合計	17,088,558	20,051,576
固定資産		
有形固定資産	2,253,633	2,246,031
無形固定資産		
のれん	208,149	185,388
その他	132,256	155,718
無形固定資産合計	340,405	341,106
投資その他の資産	720,323	662,236
固定資産合計	3,314,361	3,249,373
資産合計	20,402,920	23,300,950
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,894,807	15,035,260
短期借入金	2,094,926	4,237,692
未払法人税等	190,577	31,219
その他	812,224	602,971
流動負債合計	16,992,535	19,907,144
固定負債		
長期借入金	638,953	613,357
退職給付引当金	95,015	96,133
役員退職慰労引当金	553,906	579,237
その他	82,674	72,210
固定負債合計	1,370,549	1,360,938
負債合計	18,363,084	21,268,082
純資産の部		
株主資本		
資本金	607,750	607,750
資本剰余金	343,750	343,750
利益剰余金	1,868,502	1,919,687
自己株式	△834,099	△834,099
株主資本合計	1,985,902	2,037,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,933	△4,219
その他の包括利益累計額合計	53,933	△4,219
純資産合計	2,039,835	2,032,867
負債純資産合計	20,402,920	23,300,950

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
売上高	30,548,629	32,209,059
売上原価	27,301,444	28,786,250
売上総利益	3,247,184	3,422,809
販売費及び一般管理費	2,955,806	3,147,210
営業利益	291,377	275,599
営業外収益		
受取利息	1,022	1,523
受取配当金	1,571	1,124
受取保険金	—	582
持分法による投資利益	—	439
貸倒引当金戻入額	—	6,053
その他	8,804	7,615
営業外収益合計	11,398	17,338
営業外費用		
支払利息	23,556	21,063
持分法による投資損失	19	—
その他	1,987	809
営業外費用合計	25,564	21,873
経常利益	277,212	271,064
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,172	—
有形固定資産売却益	—	964
特別利益合計	4,172	964
特別損失		
有形固定資産除却損	2,242	75
投資有価証券評価損	—	4,326
特別損失合計	2,242	4,402
税金等調整前四半期純利益	279,141	267,626
法人税、住民税及び事業税	40,721	56,756
法人税等調整額	82,507	103,577
法人税等合計	123,229	160,333
少数株主損益調整前四半期純利益	155,912	107,293
四半期純利益	155,912	107,293

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	155,912	107,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,958	△58,152
その他の包括利益合計	14,958	△58,152
四半期包括利益	170,870	49,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,870	49,140
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	279,141	267,626
減価償却費	103,649	110,207
のれん償却額	22,761	22,761
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,172	△7,463
受取利息及び受取配当金	△2,594	△2,648
支払利息	23,556	21,063
持分法による投資損益(△は益)	19	△439
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△964
有形固定資産除却損	2,242	75
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	—	4,326
売上債権の増減額(△は増加)	△1,248,680	△890,123
たな卸資産の増減額(△は増加)	△159,417	△119,452
仕入債務の増減額(△は減少)	1,413,184	1,140,452
その他	△221,624	△88,812
小計	208,067	456,609
利息及び配当金の受取額	2,564	2,642
利息の支払額	△23,850	△22,716
法人税等の支払額	△246,419	△258,523
法人税等の還付額	100	8,404
営業活動によるキャッシュ・フロー	△59,538	186,416
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	63,593	21,000
定期預金の預入による支出	△12,650	△4,750
有形固定資産の取得による支出	△35,878	△49,638
有形固定資産の売却による収入	8,363	12,000
無形固定資産の取得による支出	△38,345	△48,705
投資有価証券の取得による支出	△1,837	△3,491
その他	473	485
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,281	△73,099
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	26,456,000	28,281,000
短期借入金の返済による支出	△25,988,000	△26,100,000
長期借入金の返済による支出	△159,830	△63,830
自己株式の取得による支出	△83	—
配当金の支払額	△55,957	△55,617
その他	△17,171	△19,407
財務活動によるキャッシュ・フロー	234,957	2,042,144
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	159,138	2,155,461
現金及び現金同等物の期首残高	3,095,826	2,932,093
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,254,964	5,087,555

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	25,012,108	2,044,148	3,149,924	342,446	30,548,629	—	30,548,629
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,159,997	10,516	62,063	121	1,232,699	△1,232,699	—
計	26,172,106	2,054,664	3,211,988	342,568	31,781,328	△1,232,699	30,548,629
セグメント利益 又は損失 (△)	319,859	△8,207	22,662	15,437	349,752	△58,375	291,377

(注)1 セグメント利益の調整額△58,375千円には、セグメント間取引消去1,205千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△59,580千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療器材 事業	ライフサイ エンス事業	S P D事業	介護用品 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	25,008,491	2,273,169	4,539,266	388,132	32,209,059	—	32,209,059
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,542,433	14,589	64,082	238	1,621,343	△1,621,343	—
計	26,550,925	2,287,758	4,603,348	388,370	33,830,403	△1,621,343	32,209,059
セグメント利益 又は損失 (△)	312,015	△27,199	33,787	23,096	341,699	△66,100	275,599

(注)1 セグメント利益の調整額△66,100千円には、セグメント間取引消去2,652千円、各報告セグメントに配分しない全社費用△68,752千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より、昨年度まで「その他」に含めておりました「介護用品事業」を独立したセグメントとして表示しております。これは「介護用品事業」において組織体制の変更があり、積極的な出店を行った結果、売上高、セグメント利益とも増加が見込まれることから、グループにおいて「介護用品事業」の重要性が高まったことによるものであります。

なお、報告セグメント「その他」の区分には「介護用品事業」しか属していなかったため、第1四半期連結累計期間の表示区分より削除しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)

(株式取得による会社等の買収)

1. その旨及び目的

当社は、平成23年11月10日締結の株式譲渡契約に従い平成24年1月4日に、サンセイ医機株式会社の全株式を取得し、子会社化いたしました。

サンセイ医機株式会社は、福島県内トップシェアの医療機器・器材卸事業を展開する企業です。

福島県内に強固な営業基盤を持つ同社が、当社グループの一員になることにより、当社グループの医療器材販売ネットワークが更に広がります。

また、両社が持っている強みを効率よく活用することで、お客様へのサービスの向上が図れると考えております。

なお、同社の全株式を取得したことにより、同社の子会社である、サンセイ・メディック株式会社が当社の孫会社となりました。

2. 株式取得の相手方の名称

権瓶 和雄、稲毛 矩子、権瓶 美智子、空閑 圭子、権瓶 純市、高畑 八朗

3. 株式を取得する会社の名称、事業内容、規模

会社名	サンセイ医機株式会社
本店所在地	福島県郡山市昭和二丁目11番5号
代表者	代表取締役社長 権瓶 和雄
設立年月日	昭和34年7月9日
事業の内容	医療機器・器材卸事業
売上高	15,935百万円(平成23年6月期)
総資産	6,276百万円(平成23年6月期)
純資産	1,736百万円(平成23年6月期)
発行済株式数	14,000株

4. 株式取得の時期

株券引渡日 平成24年1月4日

5. 取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

取得株式数	14,000株
取得価額	1,850百万円
取得後の持分比率	100%